

はじめに

新年度が始まり、各学校におかれましては新入生を迎え、心機一転、新たなスタートを切られていることと思います。

また、各学校では、この3年間、コロナ禍において、子どもたちの安心・安全な学校のために、教職員一丸となって懸命に取り組んでこられたことと存じます。あわせて、学力向上や児童生徒の安心できる居場所づくりのために、日々、組織的な取組を進めてこられたことに対しまして、心から敬意と感謝を申し上げます。

私はこのたび、所長を拝命することになりました。この3月末まで、2年間、校長職を務めさせていただき、その前には、県教育委員会事務局で10年間務めさせていただきました。そこで、これまで経験させていただいたことへの、感謝と恩返しの気持ちで、東部の子どもたちの輝く未来のために、全身全霊で務めて参りたいと考えております。そして、務めさせていただくにあたり、学校、市町村教育委員会との連携、つながりを大切にして、東部教育事務所職員一同、チーム東部として取り組んで参ります。

現在の社会状況としては、デジタル化、グローバル化、少子高齢化、人口減少等による社会の変化に加え、新型コロナウイルス感染拡大による影響や、国際情勢の不安定化等によって、さらに加速度が増し、将来の予測が困難な時代に至っています。

このような急激に変化する時代の中で、すべての子どもたちが誰一人残されず、自らの「可能性」を最大限に発揮でき、社会や時代の変化に応じて課題を発見・解決する力を身に付けられる学びを実現するためには、飛躍的に進展するデジタル技術等を「日常的」に活用した学習スタイルの展開や、多様化・複雑化する子どもたちの状況に応じた教育や支援を強化する必要があります。

さて、令和5年度は、第2期教育等の振興に関する施策の大綱、第3期高知県教育振興基本計画の最終年度となります。これまでの取組の成果と課題を踏まえ、測定指標の達成に向けて、教職員一人一人が、自分自身のこととして捉え、取り組んでいくことが大切です。

この度、最終年度にあたり、第3次改訂を行いました。今回の改訂では、大きく5点のポイントを示しています。ポイントの1つとしては、学力向上対策の強化です。この中では、授業改善による学力の向上、特に中学校における対策強化が重要な取組となります。また、1人1台タブレット端末を「日常的」に活用する授業実践・教育活動の推進を示しています。その他にも、多様な子どもたちへの支援の強化として、不登校や様々な環境におかれている子どもたちへの支援のために、関係機関との連携強化等も示しています。

東部教育事務所としましては、「チーム東部の推進～未来を担う子どもたちのために～」を目標に、各学校が組織的に課題に対応し、協働的に学び合い、各種データを基に教育の質を高めていくための取組が、自律的・継続的に実施され、チーム学校が推進されるように、市町村教育委員会と連携して、支援の充実に努めて参りたいと思いますので、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

令和5年5月

東部教育事務所長 高橋 励